

～ずっと住み続けたい町を目指して～

4月から町の移住希望者受け入れ業務を担当する「移住コーディネーター」に神東美希さん（崎平区）が就任しました。移住検討者への相談対応・情報提供、空き家の活用や移住者の定住・定着に向けた支援などを行っていきます。

この度、移住コーディネーターとして活動することになりました。

愛媛県から移住してきて丸9年。一人の知り合いもないところから生活を始める勇気、住居や仕事を探すことの大変さなど、私自身が経験したからこそよく分かります。

幸い、温かい人たちに支えられて9年も住み続けています。今度は私が誰かを支える番ですが、私一人の力には限界がありますので、住民の皆さんの協力が不可欠です。

空き家や仕事の情報があればお知らせください。自分の住んでいる地区に移住者を迎え入れたい希望があればご相談ください。できるだけ多くの地区を回って住民の皆さんの声を聞いて対応したいと思います。

何よりも大事なことは「今ここに住んでいる町民の皆さんがこの町での暮らしを楽しむこと」ではないでしょうか。

一人でも多くの方にとって「ずっと住み続けたい町」になるよう、今まで培った経験を活かし活動していきます。

ご協力をよろしくお願いいたします。



平成23年に緑のふるさと協力隊として着任。平成28年からは（一社）エコティかわねの事務局長としてエコツーリズムを核としたまちづくり事業を展開してきました。

かわねフォンのテレビ電話機能で交流



▲ケアラズカフェの参加者名簿を基に各家庭に電話。カフェ再開を待ち望む。

町の地域包括支援センターでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け3月から休止している「ケアラズカフェ」の参加者を対象に、かわねフォンのテレビ電話機能を活用して安否確認を行いました。

創造と生きがいの湯（小長井区）に住民ボランティアが集まり、自宅から外出できない高齢者に電話をつなぎました。「元気？大丈夫？」と声をかけると、「みんなに早く会いたい」「元気が出てきたよ！」などと返答がありました。また、画面越しに体操をしたり歌を歌ったりするなどして笑顔を交わしました。

話し相手となった住民ボランティアの西村かつ子さん（藤川区）は「顔が見れて良かった。かわねフォンのテレビ電話をもっと活用してみんなとたくさん話したい」と笑顔で話しました。

同センターは今後もケアラズカフェ再開まで、開催日に合わせて安否確認を行っていく予定です。

～令和2年度 一般会計当初予算の主な事業～

●ひとづくり

～地域への誇りと愛着、豊かな才能を持った人があふれるまち～

人材育成奨学金（給付型・貸付型）	3,440千円
公営塾運営	32,253千円
中学生・高校生海外研修（カナダ、インド）	15,789千円
小中学校ICT教育推進	62,652千円
千年のふるさとづくり事業補助	3,700千円
農業次世代人材投資	3,000千円

●魅力づくり ～誰もが暮らしやすいまち～

高郷上長尾線新長尾川橋詳細設計	60,753千円
洪水・土砂災害ハザードマップ作成	8,492千円
徳山地区河川改修測量設計	8,069千円
定住促進住宅建設事業費補助	6,200千円
こども医療費等助成	16,215千円
在宅高齢者配食サービス	11,277千円
外出支援サービス	22,450千円
町営バス・デマンドタクシー、寸又峡路線バス運行	63,010千円

●活力づくり ～豊かな生活を支える活力をつくる～

奥大井湖上駅周辺整備（駐車場整備）	10,560千円
下泉原地区農地整備（測量・換地原案策定）	2,250千円
森林環境譲与税事業（間伐、景観伐採、木材利活用促進）	23,867千円
大井川流域観光対策	18,800千円
寸又峡温泉街観光施設整備	6,380千円
町内キャンプ場改修整備	4,484千円
起業及び事業継続チャレンジ補助	2,000千円

～当初予算における会計別予算について～

●令和2年度 各会計当初予算

会計	令和2年度	令和元年度	伸率 (%)
一般会計	5,613,000千円	5,650,000千円	△ 0.65
国民健康保険事業特別会計	800,000千円	797,000千円	0.38
後期高齢者医療事業特別会計	134,200千円	125,300千円	7.10
介護保険事業特別会計	1,305,800千円	1,286,700千円	1.48
簡易水道事業特別会計	254,900千円	315,200千円	△ 19.13
訪問看護事業特別会計	20,300千円	15,700千円	29.30
いやしの里診療所事業特別会計	59,100千円	54,000千円	9.44
計	8,187,300千円	8,243,900千円	△ 0.69

